

Yokohama Choral Society

横浜合唱協会

合唱ワークショップ (公開レッスン)

さあ、みんなで歌いましょう!

ブルックナーミサ曲の魅力

オーストリアの豊かな自然と教会のオルガンや合唱の響きを心の故郷としたブルックナーのミサ曲と一緒に歌い楽しみましょう。

2019年5月18日(土)『横浜合唱協会第69回定期演奏会』で演奏するブルックナーミサ曲第2番ホ短調を取り上げ、その魅力と一緒に楽しもうと企画致しました。ぜひ気軽にいらしてみてください。

いっしょに歌って楽しみましょう! 団員一同、ご来場をお待ちしています。(貸出楽譜は当方で用意いたします。)

合唱指導: 柳 嶋 耕 太

第1回: ブルックナーミサ曲第2番ホ短調

練習曲: Kyrie (8声合唱) と Gloria (4声合唱)

どうして小編成管楽アンサンブルという珍しい編成なのでしょう?

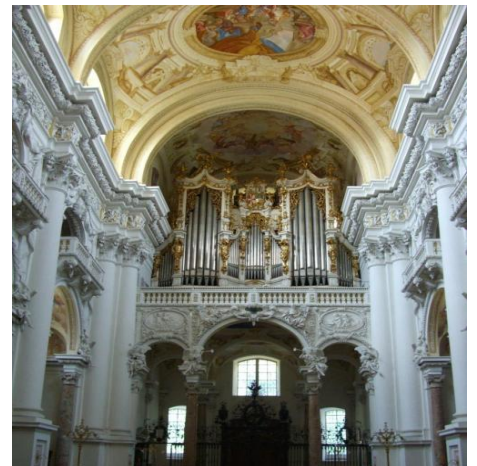
ブルックナーは沢山の宗教曲を生み出していますが、そのほとんどがアカペラのモテット、あるいはオルガン伴奏詩篇、及びオーケストラ付のミサ曲です。

どうしてこの「ミサ曲第2番ホ短調」だけ、小編成管楽アンサンブルという珍しい編成で作られたのでしょうか?

日時: 2018年7月7日(土) 18:00~21:00 (途中入場可)

会場: 吉野町市民プラザホール

市営地下鉄「吉野町」駅4番出口を出て、右方向に徒歩3分
京浜急行線「南太田」駅より徒歩5分



第2回: ブルックナーミサ曲第2番ホ短調

練習曲: Credo (4声合唱) と Sanctus (8声合唱)

交響曲とミサ曲の相互関係はどのようにして生まれたのでしょうか?

ブルックナーと言えば「あの長大な交響曲」の作曲家とのイメージが強いですね。また合唱愛好家には「珠玉のアカペラのモテット」に親しみを持っている方が多くいます。

そこで今回は「交響曲とミサ曲の相互関係」の視点から、ブルックナーの「交響曲と宗教曲」の相互関係に迫ります。

日時: 2018年8月4日(土) 18:00~21:00 (途中入場可)

会場: 吉野町市民プラザホール

市営地下鉄「吉野町」駅4番出口を出て、右方向に徒歩3分
京浜急行線「南太田」駅より徒歩5分



主催: 横浜合唱協会 <http://www.ycs.gr.jp/>
お問合せ: Tel&Fax: 045-894-3031 (ふじい)

練習会場案内は左記のホームページをご覧ください。